

トルコ人留学生からのメッセージ

2月6日、トルコでマグニチュード7.7と7.6の2つの地震が発生しました。人々は夜寝ているときでした。何十万人もの人々がまだ瓦礫の下敷きになっています。

捜索・救助活動が始まりましたが、時間切れの72時間の壁を迎えています。今のトルコの危機的な雰囲気は過ぎ去ったとしても、問題が去ったことにはなりません。このような困難の末に、崩壊した建物や瓦礫を片付け、新たに立て直す必要があるのです。

トルコの人口8,500万人のうち4分の1にあたる2,000万人がすでに路上生活となり、新しい家が見つかるまで衣食住で困っています。

都市によって雪や雨がひどく降っていて、気温がかなり低いです。

教育機関もストップしたままです。

トルコはこのような状況を打開するために、みなさんの支援を必要としているのです。ご協力をお願いします。

集まったお金はトルコ大使館へ寄付します。募金期間：2月8日～2月28日

募金場所：大学事務局（はばたき棟）総務室のカウンターにおいた募金箱（瓶）

エルトゥールル・エビス、エリフエキン・クラン、ブルジュ・オルチェル、ブケト・ブスラ・ゴンスオル、エブラヌル・グルトルコ（ボアジチ大学留学生）、ギン・クット（ボアジチ大学教員、客員共同研究員）、広域ヨーロッパ研究センター（WERC）

【問い合わせ先】佐藤真千子（国際関係学部 内線5385）